

議
町

長 日程第3「町長の行政報告」に入ります。

長 皆様おはようございます。本日より5日間、令和3年第3回議会定例会、何とぞよろしく願いを申し上げます。

9月に入り、ようやくさわやかな秋の風を感じる今日この頃ですが、議員各位におかれましてはますます御健勝のことと心からお喜び申し上げます。

まず初めに、8月14日から15日にかけて降り続いた大雨の影響により、九州地方をはじめ関東や東海地方でも記録的な大雨となりました。松田町においても記録的短時間大雨となり、国道246号線の籠場交差点から秦野市蛇塚間の通行止めや県道710号線神縄神山線の道路崩落などが発生いたしました。全国的に河川の氾濫や土砂崩れなどの原因によりお亡くなりになられた方の御冥福と、被害に遭われた全ての皆様に対し、心からお見舞いを申し上げます。本町においても、今後同様な事態が発生し得る災害に対しまして、町民と自主防災会、行政との役割分担など、日頃から対応策を準備、訓練することで、町民の皆様方の安全・安心につながるよう取り組んでまいります。

さて、去る9月6日に令和3年第3回松田町議会定例会の招集告示をいたしましたところ、議員各位におかれましては公私にわたり大変御多用の中、議員多数の御出席を賜り、ここに本定例会が開催されることを、まずもって御礼申し上げます。ありがとうございます。

私は、9月5日に執行された松田町長選挙において、再び町民の皆様からの御信託を頂き、引き続き町政を担うこととなりました。第6次総合計画に掲げる将来像「いのち 育み 未来へ ツナグ 進化 つづける 故郷」を本格的に形にするため、職員とともに行財政運営に取り組む所存でございます。9月23日から始まる私の第3期目の町政につきましては、選挙戦でも公約に挙げてまいりましたチルドレンファーストを旗印として、子供たちが住みたい、子供目線のまちづくりを推進し、就職などにて町外に出られた方々が子育て世代になったら松田町に戻ってくることにより、親子3世代が笑顔で暮らせる町を目指して、少子高齢化による人口減少の抑制に取り組んでまいりたいと考えております。その政策を動かすため、未来につなぐ重要な取組を掲げておりますが、

内容等につきましては次の議会において改めて所信表明にてお伝えをさせていただきます。

それでは、議会に先立ち貴重なお時間を拝借いたしまして、日を追って新型コロナウイルス感染症総合対策や要望関係など、行政運営の一端を御報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、政府は7月12日より東京都と沖縄県に緊急事態宣言が発令されました。宣言期間は8月22日までとされましたが、変異株による急激な感染者の増加に伴い、神奈川県をはじめとする首都圏3県と大阪府を加えて、8月2日に緊急事態宣言が発令されました。さらに感染者の急激な増加が収まらず、8月17日には緊急事態宣言地域の拡大と実施期間が9月12日まで延長されることが発表されましたが、医療提供体制が今なお厳しい状況であることを重視し、神奈川県を含む19都道府県で9月末まで延長されました。

松田町におきましても、令和3年4月からの陽性者数は55名であり、8月以降徐々に増加いたしました。9月に入り落ち着いてきております。そうした中、新型コロナウイルスワクチン接種状況についてお知らせをいたします。まず、9月の12日時点でのこととなりますが、65歳以上の対象者につきましては、3,697人中、1回目の接種済みの方は3,361人で、率にして90.9%、2回目の接種済みの方は3,311人で89.5%となっております。12歳から64歳までの対象者につきましては、6,563人中、1回目の接種の方は4,073人、率にして62%、2回目の接種の方は3,349人で51.2%の見込みとなっております。

次に、新型コロナウイルス感染症総合対策に伴う町独自の経済支援といたしまして、子育て支援や福祉の向上、地域経済の促進を目的に、発行総額6,500万円として、30%プレミアム付「松田わくわくお買い物券&飲食券」の販売予約を7月10日に開始したところ、18日間で完売をいたしました。発行総額6,500万円以上の額が地元の経済に波及することになりますので、引き続き地域経済の支援を行ってまいります。

次に要望関係になります。7月16、29、8月3日の3日間にて開催されまし

た神奈川県議会各政党県議団並びに各会派の皆様に対する要望活動を行いました。

まず、最重点要望といたしまして、4つです。1つ目に、ヤマビルや有害鳥獣被害対策では、住民生活や観光客への被害が毎年増大する中で、対策部会の設置や先進的な対策情報の共有、環境整備等に関わる財政支援、肥料化等の活用方法の調査について。2つ目に、県西地域活性化プロジェクトによるさらなる定住人口増加策について、重点事業の移住・定住を促進するため、県西地域への企業誘致促進制度の創設や、県内の市町村全体におけるSDGsの取組がさらに加速するよう、SDGs未来都市に対して対象モデル事業及び関連する事業に伴う財政的な支援や優遇措置の導入について。3つ目に、令和8年度に計画期限を迎える県独自の施策であります水源環境保全税の延長と森林整備の促進については、水源環境保全・再生機能を長期的に継続して実施することで、その機能を発揮するため、水源環境保全税・再生政策大綱の計画期間の延長を要望しております。4つ目に、災害に強い河川環境整備の推進について、災害の規模拡大に対し、流域住民の生命・財産を守るため、引き続き計画的な河床整理の促進や、富士山噴火時の洪水対策という観点からも、河床整理及び河川の継続的な維持管理について要望をいたしたところでございます。

重点要望については3つであります。1つ目に、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、重点医療機関として指定された足柄上病院について、コロナの影響に伴い地域住民の医療ニーズに対応した高い医療サービスの安定的・継続的な医療体制の充実強化と、産科や小児科などの医療体制の充実並びに通常の出産に伴う移送サービス等の県独自の施策の創設について。2つ目に、新松田駅周辺整備基本構想・基本計画の実施に向けた支援について、新松田駅周辺整備に伴う多様な支援と同時に、駅周辺整備に合わせた県道711号御殿場線アンダー部の改良事業の早期実現について。3つ目に、ICT教育に係る教員に対する支援員の配置についてであります。新しい授業形態への支援や教員のスキルアップの向上を行うためには、ICT支援員の継続的な配置と、その財源措置の拡充に対するなど、継続要望させていただきました。

続いて、7月15日に足柄上地区1市5町の首長と知事との地域別首長懇談会において、県に対する施策や補助事業の採択などの要望を行いました。今年は今南足柄市役所において開催され、県知事以下県幹部職員が出席のもと、各首長から各自治体の課題等について要望を行い、私はその際、政党要望等と同じ2つの項目を県に対し要望させていただきました。1つはヤマビルや有害獣被害対策、2つ目は県西活性化プロジェクトによるさらなる定住人口増加策について要望いたしました。

次に、個別課題要望につきましても、政党要望と同じになりますが、2つ要望いたしました。1つ目は、水源環境保全税の延長と森林整備の促進について、計画期間の延長。2つ目は、災害に強い河川環境整備の推進について要望いたしました。今後は、県に対し、町民の生命と財産を守るために必要な要望をいたしましたので、実行していただくように働きかけを行ってまいります。

それでは、諸事業について概略ですが報告をさせていただきます。初めに、7月10日に現松田町生涯学習センター開館40周年記念事業といたしまして、ふるさと大使の山崎一さんをお迎えし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底して、大ホールにて出演作品の上映会並びにトークイベントを開催いたしました。当日は子供から高齢者まで、幅広い年代の皆様、約130人の来場者に御参加いただき、記念事業を盛り上げていただきました。

次に、松田小学校校舎建設途中の見学会を行いました。7月12日には松田小学校児童を対象に、16日には役場職員並びに関係機関職員を対象に、17日には事前にお申込みをいただいた町民の皆様方約100人に、合計約600人の方に公立学校として木造3階建て全国3例目となる校舎の現場を御覧いただきました。見学会では工事担当者の誘導のもと、見学者は一般教室棟や屋内運動場などを見学し、耐震性や火災に対する安全面などの説明を受けておられました。

次に、7月17、18日の2日間にて、富士山と相模湾を一望できる町の地域資源、西平畑公園内の自然館から徒歩約5分の個人所有地約1,500平米の畑に町の新たな名所「コキアの里」として、地域住民の方の主権により3年目となる植樹祭が開催され、約50名の方が御参加されております。このコキアは、球状

の樹形に成長し、夏は鮮やかな緑色に、秋は赤色から黄金色に変化をいたし、これから見頃を迎えます。今後も町民や松田町のファンの皆様方と一緒に、年間を通じて地域資源の松田山の様々な魅力を発信し、ポストコロナ時代においても多くの交流人口や関係人口の獲得に取り組んでまいります。

続きまして、8月6日の広島、8月9日における長崎での原爆犠牲者の慰霊と核兵器廃絶、世界の恒久平和の願いを込めて、7月1日から7月20日までの間、お休み処新松田や役場庁舎、生涯学習センターにおいて町民の皆様方の御協力をいただき、昨年度を超える約2万羽の折り鶴が集まり、8月3日に広島市・長崎市にお贈りしたところでもございます。御協力をいただいた皆様方に厚く御礼を申し上げる次第です。

続きまして、8月24日から開催されました東京パラリンピックを前に、聖火のもととなります火をともし県主催のセレモニーが8月12日の午後、松田町生涯学習センターにて開催され、寺子屋まつだの児童が作りました手作りのろうそくに火をともし、その火を児童10人から私に、続いて町身体障害者福祉協会の会長へつないだ後、神奈川県が用意した採火用のランタンに着火され、「まつだの火」が誕生いたしました。この採火について、神奈川県内では松田町を皮切りに、全33市町村で採火式が開かれた後、8月20日に開催地・東京で聖火が生み出されました。

次に、令和3年度防災訓練については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、家庭内において「かながわシェイクアウト訓練」や火災報知器の点検、災害伝言ダイヤルの体験利用、備蓄品等の確認など、一人一人が正しい防災知識を身につけていただき、地域の防災力の向上に資する訓練としてお願いをいたしました。今後いつ起こるか分からない様々な災害に対しての準備や備えについて、町民の皆様が安心して暮らせるよう、引き続き取り組んでまいります。

それでは、この定例会に付議いたしました案件でございます。まず承認第4号令和3年度松田町一般会計補正予算（第6号）については、松田中学校内の消火栓設備の消火ポンプ機が故障し、早急に工事を行う必要があり、議会を招集する時間的余裕がなかったため、8月6日付で専決処分による補正を行いま

したので、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分承認を求めらるるものでございます。

次に、議案第37号松田町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例については、最低賃金法の定める神奈川県地域別最低賃金が10月から変更されることに伴い、会計年度任用職員の給与等について対応を図るため提案するものでございます。

議案第38号松田町寄農と交流拠点施設の指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第3項の規定により議会の議決を求めらるるため提案するものでございます。

議案第39号令和3年度松田町一般会計補正予算（第7号）については、地方交付税や臨時財政対策債について、令和3年度の歳入見込みが決定したことや、新型コロナウイルス感染症に伴う地方創生対応臨時交付金充当事業並びにコロナの影響による事業の中止等による一般財の削減などに伴い補正するものでございます。

議案第40号令和3年度松田町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）については、介護保険法の改正に伴う町村情報システム共同事業組合システム改修のため負担金を増額するもののほか、令和2年度の介護保険事業の実績額が確定し、一般会計繰入金精算などに伴い補正するものでございます。

続きまして、認定第1号から認定第9号でございます。令和2年度一般会計と7特別会計、また上水道事業会計の決算の認定等をお願いしているほか、そのほか報告案件として健全化判断比率及び資金不足比率の報告、令和2年度一般会計継続費の精算報告、有限会社みやまの里の経営状況について報告案件が3件ございます。

以上、提案させていただく各案件につきましては、議事の進行に伴い、私をはじめ副町長、教育長、担当課長から御説明を申し上げますので、よろしく御審議の上、御決議賜りますようお願いいたします。

以上、私からの行政報告でございます。本日よりよろしくお願い申し上げます。

議 長 町長の行政報告を終わります。